

令和 7（2025）年度

学習院大学大学院
政治学研究科 博士前期課程

一般入試問題（B 日程）
2 時限目

専 門 科 目
（国際関係・地域研究コース）

1. 「国際政治」については、解答用紙裏面の使用を認めない。
解答用紙の追加を 2 枚まで認める。
2. 「東アジア」については、解答用紙裏面の使用及び解答用紙の追加を認めない。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号	フリ ガナ	
							氏名	
試験科目	令和7年度 一般入試(B日程) 国 際 政 治			備考	問 題 用 紙		採点欄	

次の（１）から（５）の設問から２問選択し、それぞれ個別の解答用紙を用いて回答しなさい。その際、選択した設問番号を各解答用紙に明記すること。

- （１） 近年の米中対立について、ケネス・ウォルツ（Kenneth Waltz）の３つの分析レベル（またはイメージ）に基づき分析しなさい。
- （２） 世界の主要援助国の援助政策およびその変化を、国際政治学の視座を適用して説明しなさい。
- （３） 古典的リアリズム、ネオリアリズム、攻撃的リアリズム、防御的リアリズム、新古典的リアリズムについて、それぞれ簡潔に説明しなさい。
- （４） 第二次世界大戦後の日本の防衛政策の変遷を国際政治学の視座を適用して説明しなさい。
- （５） ブレトンウッズ体制崩壊後の国際金融秩序安定のための国際的な取り組みについて説明し、現在の体制の課題について論じなさい。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受 験 番 号		フリ ガナ	
								氏 名	
試 験 科 目	2025年度 一般入試(B日程) 国 際 政 治			備 考	解 答 用 紙		採 点 欄		

5

10

15

20

25

30

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試 験 科 目	2025年度 一般入試(B日程) 国 際 政 治			備 考	解 答 用 紙			採 点 欄	

5

10

15

20

25

30

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受 験 番 号	フリガナ	
							氏名	
試験科目	令和7年度 一般入試(B日程) 東 ア ジ ア			備考	問 題 用 紙		採点欄	

下記の問1～問3に答えなさい。問1・問2を1枚目の解答用紙に、問3を2枚目の解答用紙に、問題番号を明記して記述すること。

問1：下記(1)～(4)の語句から2つを選び、その定義を示したうえで、その概念が適用できる東アジアの例をあげ、内容を具体的に説明しなさい。

- (1) ウォルツの3つのイメージ
- (2) 中所得国の罭
- (3) アリソン・モデル
- (4) 旗下結集効果

問2：議会制民主主義体制における政党の役割について、具体的な機能を説明して論じたうえで、それと対比しながら中国の党国体制における党と国家機構の関係、その下での党の役割について論じなさい。

問3：(1)(2)の両方を答えなさい。

(1) 東アジア政治に関する任意のトピックを選び、それを分析・説明するのに有用な理論もしくは概念について説明した上で、選択したトピックを具体的に分析・説明しなさい。

(2) 戦後東アジア国際関係の変遷に関して、時期区分を導入して各時期の特徴に言及しながら、その展開の過程を論じなさい。

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

学習院大学大学院

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試験 科目	2025年度 一般入試(B日程) 東 ア ジ ア			備 考	解 答 用 紙		採 点 欄		

5

10

15

20

25

30

(注意)・答案は必ず提出すること。・太線内は必ず記入すること。

課 程	博士前期課程	研 究 科	政治学研究科	専 攻	政治学専攻	受験 番号		フリ ガナ	
								氏 名	
試験 科目	2025年度 一般入試(B日程) 東 ア ジ ア			備 考	解 答 用 紙			採 点 欄	

5

10

15

20

25

30